

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

秋季大祭 挨拶

サルートン こんにちは

只今は爽やかな秋空のもと
大本名古屋分苑秋季大祭なら
び祖霊合同慰霊祭を大本本部
総務の山田 歌先生をお招き
致して、皆様と共に盛大に執
り行わせていただきました。

誠にありがとうございます。
九月十八日には香良洲神社
で教主様をお迎えして、中遷
座祭典があり、東海教区の方
達また近江本苑の方も参拝に
お見えになりました。

祭典は夜の暗い参道を御神
体を白布で覆い非常に厳肅に
執行されました。

九月二十三日・二十四日に
開催いたしました祭式講習会
と葬祭研修会につきましては、
岐阜主会から五名・三重主会
から三名と合計二十五名の参
加者がありました。昇級試験

では三級で二名・二級で二名
の方達が挑戦され全員無事合
格され、後程認定書の授与を
行います。

名古屋分苑に所属している
支部で信者さん減少のため、
六月の半田支部に続き、今回
一宮支部が一宮会合所に変更
になりました。

名古屋分苑誠心会の行事と
して十月二十八日と二十九日
に開祖大祭の一週間前ですが、
金龍海周辺の大八洲神社・沓
島冠島神社・大本塩釜神社と
その島の周辺の整備等の献勞
をさせて頂きます。女性の方
も今回の献勞は参加されても
大丈夫です。

大道場修行は最終日に、お
舟金龍丸に乗り大八洲神社に
上がらせて頂きお参りして終
了ですが、献勞では、お参り
してから島が綺麗になって終
了です。島が沓島冠島・大本
塩釜とあります。

お宮掃除には作務衣が必要
ですが、島の掃除は作業着で
結構です。

十一月に入れば月始祭と同
じ土曜日に本部では、ここに
ご大家族、五日は開祖大祭が
行われます。預かり玉串は、
今日お出しになられる方は私
が預かせて頂きます。十一
月四日の月始祭に出される方
は翌日、長生殿で受け取らせ
て頂きます。

十一月の予定としては、四
日、第一土曜日の月始祭は本
部に居ますので欠席いたしま
す。月次祭も全国主会長会議
の為、欠席いたします。

十二月に入れば月始祭後に
総代会を開催し、令和五年度
の収支の概算を審査して頂き
ます。総代会は委任状では会
議が出来ません、総代の方は
必ず出席して頂くようにお願
いいたします。

十二月十七日は月次祭後に
機関長会議を開催いたします。
案内は十一月の月次祭迄には
BOXに入れておきます。
皆様には、令和六年度の行

事予定表を全国機関長会議に
発表される本部の行事と東海
教区を交えた行事予定表を作
成して配布いたします。

玉鑑のなかでフルベユラに
ついて病人にお取次ぎする場
合の言葉は、一、二、三、四、
五、六、七、八、九、十、フ
ルベユラ、フルベユラユラと
称うべきである。フルベユラ
ということ、神を喜んで歡
喜している形である。とお示
しになっています。

来年の宣伝使拝命をされる
方は申し出て下さい。

本日のご参拝ありがとうございます。
ございました。コーランダンコン

行事報告

●月始祭 十月七日(土)

参拝者 十五名
斎主 見田すみ子
祭員 島山 茂
進行 青山 将士



●直心会聖地献勞(緑寿館)
十月七日(土) 八時半に緑
寿館に集合、館のご神前にご
挨拶をさせて頂きました。

最初に拝殿の床のぬか研ぎ
をさせて頂き、大神様のお光
を近くに感じながらのありが
たい作業でした。

その後、館の外廻りと庭の
苔の中の草引きをさせて頂き
聖地の清々しい空気の中での
嬉しいひと時でした。前回に
引き続き、近江本苑の方々と
の楽しいご奉仕でした。

参加者 森悦子 高嶋フミ子
直心会長 堀和子報告

●草引き献勞作業(十月八日)
岐阜海津市の前日の天気予
報では、午前中は降水確率二
十パーセント午後は八十パー
セントなっていました、その
ため開始時間を九時半からと
して当日を迎えました。当初
6名が4名になり草もかなり
茂っていました。作業を進め
て行く中であと1台草刈り機
が有れば時間が短縮できるの
で今回初めて島山君に使い方
を説明して草刈り機を使用し

て頂きました。作業を無事十二時半に終わり天気も味方をして作業中、心地よい風もあり良い1日を過ごさせていた頂きました。

参加者 小林清人 畠山茂
高嶋フミ子 高嶋善雄報告



●秋季大祭・祖霊合同慰霊祭
十月十五日(日)に大神様齋主・高嶋善雄分苑長、慰霊祭齋主・妹尾正治特任のもと、本部より山田歌先生をお迎えして厳粛に執行され、祭典後には八雲琴「振放曲」が奉納された。

直会后、山田歌先生による講話「激動の令和五・六・七年くみろくの世への序章の秋(とき)」を聴講した。

執行委員長 川地 貴子
執行副委員長 伊藤久仁男
参拝者七十九名
(大祭関係者含む)



☆前日は十時から直心会・準備委員により分苑の清掃・祭典準備が行われた。



行事予定

十一月十九日(日)
月次祭 午前十時半より
十二月二日(土)
月始祭 午後一時半より
総代会

じいじの道草雑話

【自然は老先生】

特任宣伝使 妹尾正治

じいじは歩行困難にならないよう朝の散歩を心がけている。

いつも奥さんと一緒に出掛け、畦に咲く野花を見ながら季節の移り変わりを楽しんでいる。今は彼岸花の赤とツユクサの青と野生の朝顔の白、ピンク、青色が心を和ませてくれている。

運が良いと、瑠璃色のカワセミに出会ったり、アオサギに「オハヨー」と挨拶したり、イタチが目の前を右から左に横切ったから今日は良いことが有るなどと小さな幸せ探しの散歩になっている。



じいじはシスター渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」という言葉が大好きだ。散歩の時、けなげに咲く野花を見るとこの言葉を思い出す、公園の花の様に肥料も水も貰えるわけがなく、彼らは自然にすべてを任せて自分のために一生懸命に咲いている。周りとは比べることなく、自分の境遇を恨むことなく、他人を羨むことなく一所懸命に生きなさいと、花から語り掛けられる散歩である。

昨日、昆虫博士がこんなことをテレビで話していた「樹液が出る木を一日観察していると、時間ごとに違った種類の昆虫が集まってきて樹液を吸っている」「昆虫は争わないように進化してきている」その言葉を受けてキヤイーンの木ドちゃんや「人間も喧嘩しないように進化すればいいですね!」と感動していた。人は進化の途中なの?それとも退化し始めたの?自然の老先生に教えを請いたいと思うじいじである。